# あんずの木

平成 31 年２月号　　NO.33

１月、雨が降らないな、と思っていたら 31 日に降りましたね。夕方、子ども達を見送りに外に出ると、雨の匂いを久しぶりに感じました。なんだか嬉しくなって深呼吸してしまいました。晴曇雨雪、やっぱり適当に散りばめられていないと、心も平板になってしまうのかもしれません。そういえば、今年は、クルマのフロントガラスの氷を落とす作業を一度もしていません。寒い朝の定番のはずなのに。霜柱を踏み歩く子ども達の姿にも、まだお目にかかっていません。乾燥しすぎて、世の中に水分がないからですね。インフルエンザも大流行するわけです。

何事も、偏りのない生活が、視野を広くし心も身体も柔らかくするのだと思います。でも余裕のないときには、偏っていたほうが、こだわっていたほうが、かたくなになっていたほうがラクなこともありますね。さて皆さんの今は？私はねぇ‥‥

誰かと一緒にいると、その人が窓を開けてくれることがあります。２月もいろいろな出会いがあるといいですね。マスクで顔が半分しか見えないかもしれませんが。

## ―２月・３月の予定―

２月　６日（水）地域連携日（児童・放デイ共にお休みです）
２月 14 日（木）ドクターN の医療相談（１４～16 時）
２月 19 日（火）ＳＴ（児童）
３月 14 日（木）ＳＴ（児童）
３月 24 日（日）卒園式（児童）
３月 29 日（金）新年度準備のためお休みです（児童・放デイ）

## ＝お知らせ＝

### ≪３１年度の利用について≫（児童・放デイ共通）

＊利用希望の提出、ありがとうございます。今後、個別で曜日調整等をお願いする場合があります。よろしくお願いします。

### ≪発達検査について≫（児童）

＊就学前のお子さんについて、質問紙による発達検査を、希望のあるご家庭に実施します。詳細は別紙にてお知らせしておりますが、今後、年１回実施することで、お子さんの成長と課題を一緒に確認していきたいと思います。ご不明な点がありましたらお尋ねください。

### ≪事業所自己評価アンケートについて≫

＊今年度も、児童・放デイ共に事業所自己評価アンケートを行います。お忙しい中申し訳ありませんが、ご協力をお願いいたします。

## くじらクラスの１月あれこれ

　今月は、朝の会にトランポリンを取り入れました。クジラクラスになってからは初めてです。去年経験しているので「知ってるよ、あれだよね。」の笑顔の子。
その楽しそうな様子を見てか、身を乗り出してチャレンジ!!そして「楽しかった！」の笑顔。
前回は大人に支えられて、そして今回は自分の力でジャンプ!!「やった！」「できた！」の笑顔。
様々な笑顔の子ども達に、大人もみんな笑顔になりました。
　クジラクラスが始まって 10 か月、子ども達は、心も身体もグン！と大きくなったことを感じました。みんなで笑って身体もポカポカ。２月もたくさんの笑顔を見つけていきたいと思います。

## ペンギンクラスの１月あれこれ

　１月に入り、本格的な寒さが続く中も元気いっぱいのペンギンさんです。
マットや運動では、やりたい気持ちがあふれ、思わず身体が前のめり。ちょっぴり難しかった課題も、回を重ねるごとに少しずつコツをつかんでいるように感じます。
　朝の会では、「どうぶつ村」のパネルシアターを少しずつ取り入れています。パネルに登場する動物と、子ども達が持っている動物をそれぞれに確認し、「ブタはだれが持っている？」「次は何の動物？」「ひつじって、なんて鳴くの？」と、パネルを見ながらたくさん考えている子ども達の表情が、とっても素敵です♡
　まだやっていない曜日でも少しずつ取り入れて、みんなで楽しめたらいいなと思っています♪

　児童発達支援の運営は、職員の復帰もあり、おかげさまで徐々に復活してきました。
児童発達支援を利用しているお子さんの保育所等訪問支援を段階的に再開しています。今後も、元に戻すという消極策ではなく、みんなの姿を見ながら、新たな展開・発想も盛り込み支援を工夫していきたいと思います。がんばりますね！

## 放デイのひとり言

　外は冷たい北風が突き付けています。あんずは、子ども達の笑顔で暖かいです。
１月の『作って遊ぼう』の活動は、お正月にちなんで『コマづくり・コマ遊び』をしました。
　まず、丸く切った厚紙に、それぞれ自分の好きな絵や模様を描きます。
次に、中心に長めの“つまようじ”を通して、ボンドをつけてもらい乾くのを待ちます。一人２個作りました。さあ、できあがり!!みんなでホールに行って回します。描いた絵、模様が回転するとステキな変化をします。

クルクル回って混ざり合い、想像以上の色ができて、様々な色彩の輪に変わり、層になって回り続けます。単色でも、中心のほうと外側とでは濃淡の違いが出てきます。おもしろい！感動です！
コマ回し遊びに、みんな気持ちを集中させ楽しんでいました。自分で作ったものなので、楽しさも倍増しますよね。
　空気が乾燥しているので、手洗いうがいを行っています。２月もよろしくお願いします。

## 保育所等訪問支援１月のある日あるとき

訪問先の幼稚園保育所は、世間のインフル大流行のすき間をぬってなのか、お休みもポツポツ、みんな元気に園庭を駆け回っていました。

この時期の行事は、発表会や作品展がメインですね。

劇や歌の練習は、行事を重ねてきた経験が前向きに生きていると思いました。待っている間は、ちょっとグダグダ…。でも「出番ですよ！よろしくお願いします！」とディレクターにメガホンを振られると「よし！」と背中をピンとさせて演じてしまう姿に“役者魂”を感じます。細かいことを言えば、あれこれあるのですが、楽しんでいる姿にウソはなく、人としての成長をしっかり感じることができます。先生方の眼差しが、そう語っています。

制作は、その子の個性と力が、作っている姿にも完成品にも十分に発揮されているなと思いました。子どものやる気とスキルの器と、先生方の準備された材料と、さりげない促しの工夫が、見事に絡み合い、ストレス少なく「できたよ！」につながっています。

『匠』（たくみ）を感じました。きっと２月もあっという間ですね。

☆お　礼☆

絵本、オモチャ、ブービーカー、教材など、１月もたくさんのお心遣いをいただきました。また、あんずで使用する雑巾を放デイのお母さんに縫っていただきました。用意いただくために割いていただいた時間のことを思うと「がんばらなくちゃ！」と温かさを感じます。本当にありがとうございます。

## つながりリレーコラム

第１７回目は、作業療法士の　岩田　考史　さん です。

「つながり」

「つながり」と言われて思うこと。僕が子どもと関わる上で大切にしていることは“人とつながりやすい人”になってもらうことです。作業療法というと、身の回りのこと、運動、言葉など目に見えて“できることが増える”ことを期待されます。できることが増えるとは大切なことですが、そういうことの前に“人とつながれる人”になってもらうことが大事なんじゃないかと思っています。目が合うとか、話が聞けるとか、そんなことじゃなくていいんだけど、人を上手に意識できること、そして、上手に人とつながることができると、本人が“教えてもらいやすく”周りも“教えやすく”なりませんか？

「人は社会的な生き物である」(アリストテレスとホップスのかけ合わせみたいですが)大学時代の哲学の教授が言っていました。「人は一人では生きられない」だからこそ社会性が必要であり、上手くつながらないと生きにくくなっちゃうんです。

良いつながりがあると“やってほしいこと、困ったことが伝えられる”つまり、困っていることが人から見てわかるから、子ども達にとっては「人＝助けてくれる存在」になる。嫌なつながりだと“何かしでかしたときにつながっちゃう”から、「人＝怒る人、注意する人、嫌な存在」になってしまいます。“なかなかうまくいかない本人”を周りの人が受け止めるのは大前提ですが、子ども達には上手に人とつながれるようになって欲しいんです。

そして、作業療法士も１人じゃ何もできないんです。セラピーの場で完結してしまっては、ただの自己満足。子ども達の困っている生活の場につながるには、いろいろな人とつながらなくちゃいけないんじゃないかと思います。正直なところ、最近ちょっと困ってます。助けてくれる存在がもっと必要で、子ども達のことを一緒に話して考えてくれる人をたくさん探しています！

僕のことを知っている人には「そうなの？」と笑われそうですが、じつは見た目がチョンマゲなのも「チョンマゲ＝見てすぐに覚えてもらえる！≒つながれる!?」なんてことも考えていたりして…(笑)

興味がある方がいたら、どうぞお声がけを！つながれるのを待っています！

岩田さんは、あんずの児童に週１回来ています。